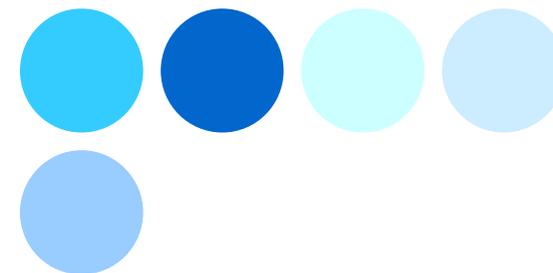
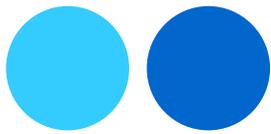




2006年3月期  
～中間決算説明会～

2005年11月1日  
オムロン株式会社





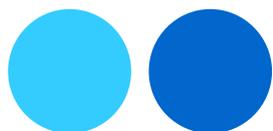
# 目次

## 2006年3月期 中間決算発表

1. エグゼクティブサマリー	P. 4
2. 中間決算報告	P. 6
3. 通期業績見通し	P. 18
4. 中間決算報告補足事項	P. 20
5. ヘルスケアビジネス 事業戦略	P. 25

### <注意>

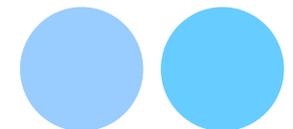
1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 連結子会社数は142社、持分法適用関連会社数は16社です。
3. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。  
実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i)当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii)当社製品・サービスに対する需要動向、(iii)新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv)資金調達環境の大幅な変動、(v)他社との提携・協力関係、(vi)為替・株式市場の動向などがあります。  
なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。



# 主な事業内容と略称

事業	事業名称	略称	事業内容
制御機器	インダストリアル・オートメーション・ビジネス	IAB	工場自動化等の制御機器の製造販売
電子部品	エレクトロニクス・コンポーネツ・ビジネス	ECB	家電や通信機器、モバイル機器向けの電子部品の製造販売
車載電装品	オートモーティブ・エレクトロニック・コンポーネツ	AEC	自動車搭載用電子部品の製造販売
公共システム	ソーシアル・システムズ・ビジネス	SSB	自動改札機などの鉄道機器、交通管制システムの製造販売とサービス
健康機器	ヘルスケア・ビジネス	HCB	電子血圧計等の家庭用健康機器の製造販売
その他	事業開発本部ほか	その他	新規事業の探索や、上記部門に属さない事業

# 1. エグゼクティブサマリー



2006年3月期はグランドデザイン2010(GD2010)の第2ステージ(2004年4月～2008年3月)の2年目  
第2ステージ目標達成に向けたマイルストーンと位置づけ「強靱な収益構造への前進」を図る

## 中間決算報告とポイント

営業利益、税前利益とも前年同期・計画を上回る。売上は、ほぼ計画通りで推移

(連結業績)	実績	計画比	前年同期比	
売上高	2,854億円	100.1%	94.4%	
営業利益	313億円	104.2%	100.2%	(営業利益率 11.0%)
税前利益	318億円	105.9%	109.5%	(税前利益率 11.1%)

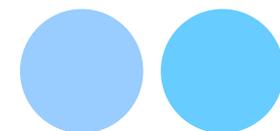
- ①連結売上高: 前年比減少の最大要因はSSBの金融機器事業のJVへの移行による(270億円減)
- ②営業利益: 前年に対し金融機器事業のJV移行分がマイナス(40億円減)要因だが、代行返上益(119億円)により前年を上回る
- ③事業状況: 売上は、電子部品(ECB)を除き堅調に推移

## 通期業績見通しとポイント

売上、利益ともに当初計画通りを見込む

(連結業績見通し)	通期	前年同期比	
売上高	6,250億円	102.7%	
営業利益	650億円	115.8%	(営業利益率 10.4%)
税前利益	630億円	119.9%	(税前利益率 10.1%)

## 2. 中間決算報告



売上高2,854億円 営業利益率11.0%  
連結売上、営業利益ともに計画をクリア  
売上の前年比マイナスは金融機器事業のJV移行が主要因

<損益計算書>

(単位:億円)

全社P/L	05年3月期 上半期 実績	06年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 上半期 当初計画	計画比 増減 %
売上高	3,023	2,854	* 94.4%	2,850	100.1%
売上総利益	1,273	1,172	92.1%	1,170	100.2%
販管費	719	732	101.7%	710	103.1%
R&D費	242	247	102.3%	250	98.8%
代行返上益	-	119	-	90	132.4%
営業利益	312	313	100.2%	300	104.2%
税引前利益	290	318	109.5%	300	105.9%
税引後利益	164	167	101.8%	170	98.4%

<為替レート>

(単位:円)

US\$レート	109.5	109.9	0.4	100.0	9.9
EURレート	132.8	136.2	3.4	130.0	6.2

\*注) 2004年10月に合併に移行したATM等の金融機器事業の売上を除くと前年比 103.7%

国内外ともに、ほぼ計画どおり  
セグメント別では、電子部品(ECB)以外堅調

(単位:億円)

エリア別	05年3月期 上半期 実績	06年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 上半期 当初計画	当初計画比 増減 %
国内	1,810	1,606	88.8%	1,590	101.0%
海外**	1,213	1,248	102.8%	1,260	99.0%
合計	3,023	2,854	94.4%	2,850	100.1%

\*\*直接貿易は海外に含む

カンパニー別	実績	実績	%	当初計画	%
IAB	1,272	1,303	102.4%	1,310	99.4%
ECB	500	459	91.9%	510	90.0%
AEC	302	351	116.3%	340	103.3%
SSB	*589	340	57.7%	320	106.2%
HCB	239	276	115.3%	260	106.0%
その他	121	125	103.0%	110	113.6%
合計	3,023	2,854	94.4%	2,850	100.1%

\*注) 2005年3月期の実績は、ATM等の金融機器事業の実績を含む

制御機器事業(IAB)は経費抑制などにより計画比増  
電子部品(ECB)は苦戦、車載(AEC)は投資継続

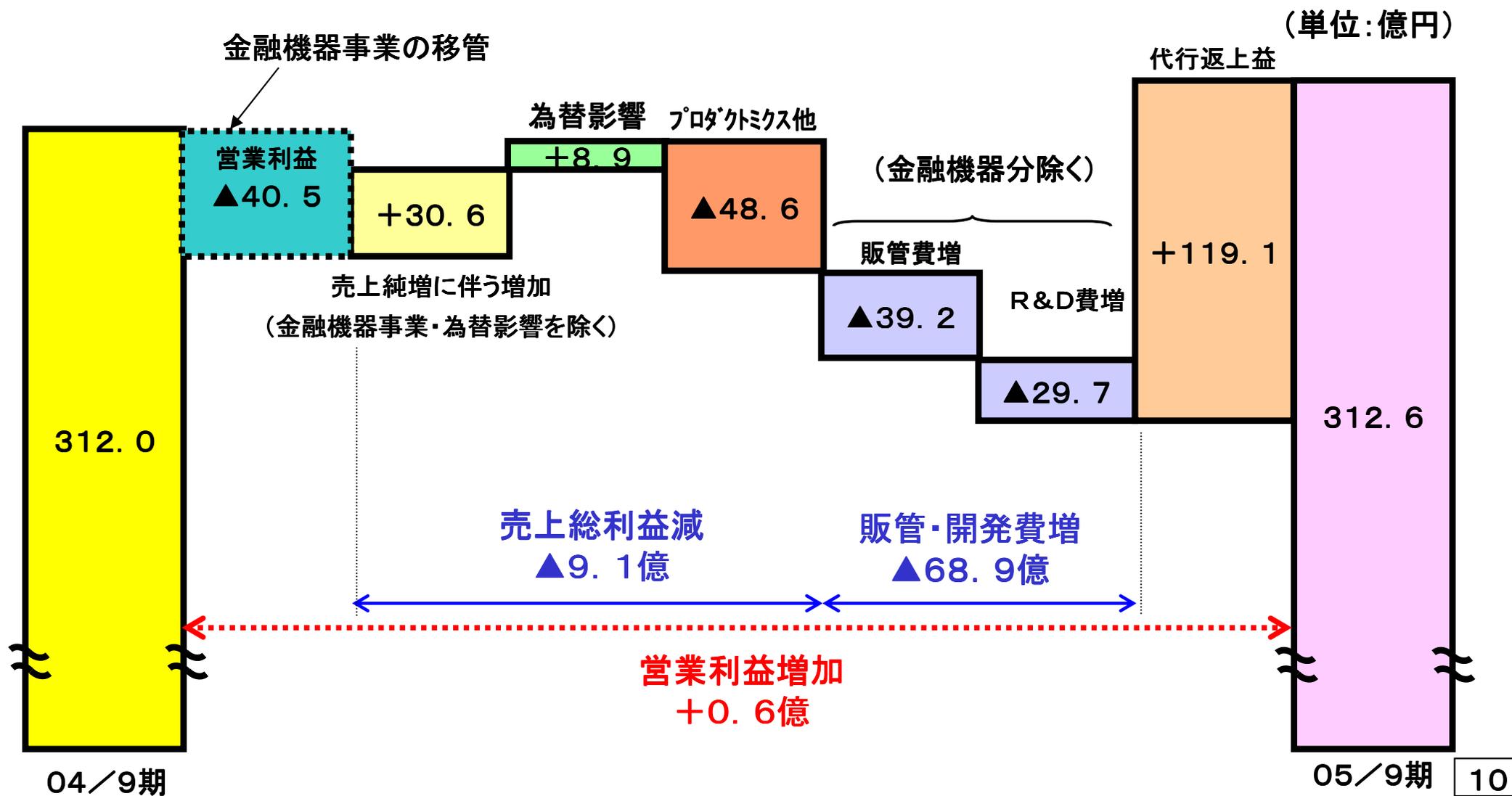
(単位:億円)

カンパニー別	05年3月期 上半期 実績	06年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 上半期 当初計画	当初計画 増減 %
IAB	236	204	86.5%	190	107.6%
ECB	83	53	64.1%	65	82.3%
AEC	-7	-8	-	5	-
SSB	* 37	-24	-	-25	-
HCB	30	31	102.2%	35	87.6%
その他	20	13	67.2%	10	134.4%
本社費他消去	-87	-75	86.8%	-70	109.2%
代行返上益	-	119	-	90	132.4%
合計	312	313	100.2%	300	104.2%

\*注) 2005年3月期の実績は、ATM等の金融機器事業の実績を含む

# 連結営業利益差異分析

金融機器事業のJV移管によるマイナスが発生するも、  
代行返上益により営業利益は前年を上回る



工場自動化用、産業機器用の制御システム・機器の製造・販売

センシング機器 (光電・近接センサ、基板検査装置など)  
 コントロール機器 (PLC、温度調節器、リレー、タイマなど)  
 セーフティ機器 (セーフティセンサ、セーフティスイッチなど)

スマートセンサ



売上高1,303億円、営業利益率15.7%  
 北米、アジアで堅調、中華圏は回復傾向

プログラマブルコントローラ



(単位:億円)

IAB	05年3月期 上半期 実績	06年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 上半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	657	652	99.3%	663	98.3%
海外売上高	615	651	105.8%	647	100.6%
北米	101	114	112.5%	103	110.8%
欧州	324	332	102.5%	345	96.2%
アジア	56	62	109.6%	58	106.2%
中華圏	113	121	106.9%	120	100.6%
貿易分	21	22	106.9%	21	106.9%
売上総合計	1,272	1,303	102.4%	1,310	99.4%
営業利益	236	204	86.5%	190	107.6%

基板検査装置



2006年3月期  
上半期

# セグメント別情報-電子部品事業

## ECB: エレクトロニクス・コンポーネンツ・ビジネス

OMRON

Sensing tomorrow™

家電、通信機器、携帯電話、アミューズメント機器、OA機器向けの  
電子部品の製造・販売

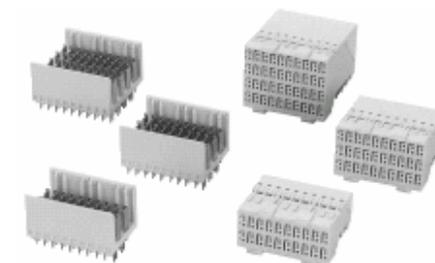
リレー、スイッチ、コネクタ、センサー、マイクロレンズ・アレイ、  
カスタムIC、ICコイン、光通信デバイスなど

売上高459億円、営業利益率11.6%  
国内外で弱含み、液晶BLが苦戦

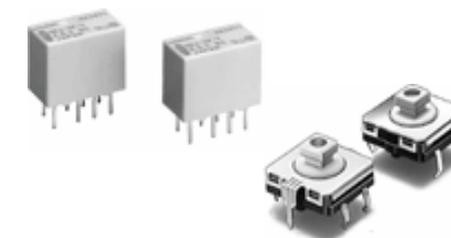
(単位:億円)

ECB	05年3月期 上半期 実績	06年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 上半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	252	223	88.6%	245	91.2%
海外売上高	248	236	95.3%	265	88.9%
北米	52	47	90.3%	49	95.7%
欧州	59	61	103.2%	65	93.1%
アジア	28	29	103.7%	30	96.5%
中華圏	57	61	106.5%	71	86.1%
貿易分	52	38	74.1%	50	76.4%
売上総合計	500	459	91.9%	510	90.0%
営業利益	83	53	64.1%	65	82.3%

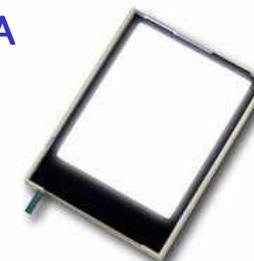
### コネクタ



### リレー、スイッチ



### 液晶画面用バックライト B-MLA



2006年3月期  
上半期

# セグメント別情報-車載電装品事業

OMRON

AEC:オートモーティブ・エレクトロニック・コンポーネンツ *Sensing tomorrow™*

## 自動車搭載用電子部品の製造・販売

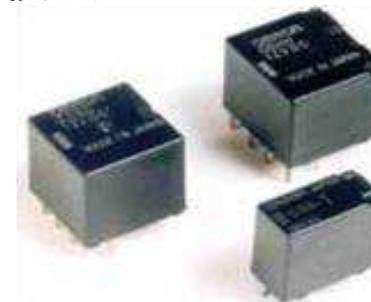
車載用リレー、センサー、レーザーレーダー、パワーウインドースイッチ、キーレスリモートスイッチ、ECUなど

売上高351億円、生産プロセス改善に伴う  
経費増により営業利益マイナス

(単位:億円)

AEC	05年3月期 上半期 実績	06年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 上半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	126	130	103.4%	135	96.5%
海外売上高	176	221	125.5%	205	107.8%
北米	101	125	123.8%	112	111.4%
欧州	21	30	143.0%	32	94.8%
アジア	53	66	124.4%	61	107.8%
中華圏	0	0	0.0%	0	-
貿易分	1	0	16.4%	0	-
売上総合計	302	351	116.3%	340	103.3%
営業利益	-7	-8	-	5	-

車載用リレー



キーレスリモートスイッチ



レーザーレーダー



2006年3月期  
上半期

# セグメント別情報-公共システム事業

## SSB:ソーシャル・システムズ・ビジネス

**OMRON**  
Sensing tomorrow™

駅務・交通分野への機器/モジュールの製造・販売および  
ソリューション/サービスの提供

自動改札機、券売機、精算機等の駅務機器  
信号制御、道路管制機器等の交通機器

**売上高340億円**  
売上は計画を上回り、利益は計画通り

(単位:億円)

SSB	05年3月期 上半期 実績	06年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 上半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	542	334	61.7%	309	108.2%
海外売上高	47	6	11.8%	11	50.5%
北米	1	1	63.7%	6	15.5%
欧州	4	0	-	0	-
アジア	0	0	-	0	-
中華圏	0	0	40.0%	0	-
貿易分	43	5	10.8%	5	92.2%
売上総合計	589	340	57.7%	320	106.2%
営業利益	37	-24	-	-25	-

\*注) 2005年3月期の実績は、ATM等の金融機器事業の実績(売上270億円、営業利益40億円)を含む  
・金融事業実績を除いた売上の前年比は107%

自動改札機



自動券売機



交通/道路管理システム



2006年3月期  
上半期

# セグメント別情報-健康機器事業

## HCB:ヘルスケア・ビジネス

**OMRON**  
Sensing tomorrow™

### 家庭用および医療用健康機器の製造・販売

電子血圧計、電子体温計、ネブライザー、歩数計、体組成計(体脂肪計)、  
低周波治療機、マッサージ機器

売上高276億円、営業利益率11.2%  
7月よりCMT売上を含む(売上21億円)

(単位:億円)

HCB	05年3月期 上半期 実績	06年3月期 上半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 上半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	114	143	125.3%	128	111.4%
海外売上高	125	133	106.2%	132	100.7%
北米	68	68	98.9%	71	95.1%
欧州	36	42	114.7%	37	113.2%
アジア	7	8	116.7%	8	105.8%
中華圏	13	14	113.0%	15	94.1%
貿易分	1	1	158.3%	1	95.0%
売上総合計	239	276	115.3%	260	106.0%
営業利益	30	31	102.2%	35	87.6%

### 血圧計



### 体組成計(カラダスキャン)



### 携帯型心電計



代行返上により退職給付引当金の大幅減、および株主資本の増加  
株主資本比率は前期末52.2%から64.6%へ増加

(単位:億円)

連結 B/S	2004年9月期	2005年3月期	2005年9月期
総資産	5,712	5,854	5,483
現預金	775	806	556
売上債権	1,139	1,217	1,063
在庫	823	686	777
その他流動資産	268	250	262
固定資産	2,707	2,895	2,825
負債計	2,709	2,796	1,942
短期借入金	248	229	20
長期借入金	8	18	12
退職給付引当金	1,042	1,120	593
その他負債	1,411	1,429	1,317
株主資本	3,003	3,058	3,541

将来に向けた投資や事業買収により  
投資活動によるキャッシュアウトは対前年同期比62億円の増

(単位:億円)

連結CF	2004年 9月期	2005年 9月期	(参考) 2005年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	336	233	611
投資活動によるキャッシュフロー	▲165	▲227	▲361
FCF	171	6	250
財務活動によるキャッシュフロー	▲373	▲264	▲407
換算レート変動の影響	26	8	13
期中の増減額	▲176	▲250	▲144
期末の現金残高	775	556	806

## 3. 通期業績見通し



## 売上高、利益の見通しは、当初計画通り

### < 損益計算書 >

(単位: 億円)

	05年3月期 通期 実績	06年3月期 通期 見通し	前年比 増減 %	06年3月期 通期 当初計画	計画比 増減 %
売上高	6,086	6,250	102.7%	6,250	100.0%
売上総利益	2,498	2,560	102.5%	2,560	100.0%
販管費	1,442	1,500	104.0%	1,500	100.0%
R&D費	494	500	101.1%	500	100.0%
営業利益	561	650	115.8%	650	100.0%
税前利益	525	630	119.9%	630	100.0%
税引後利益	302	360	119.3%	360	100.0%

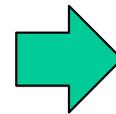
## 4. 中間決算報告補足事項



上期は対応項目において、計画通りの進捗  
今年度全廃目標達成に向けて、下期も引き続き取り組む

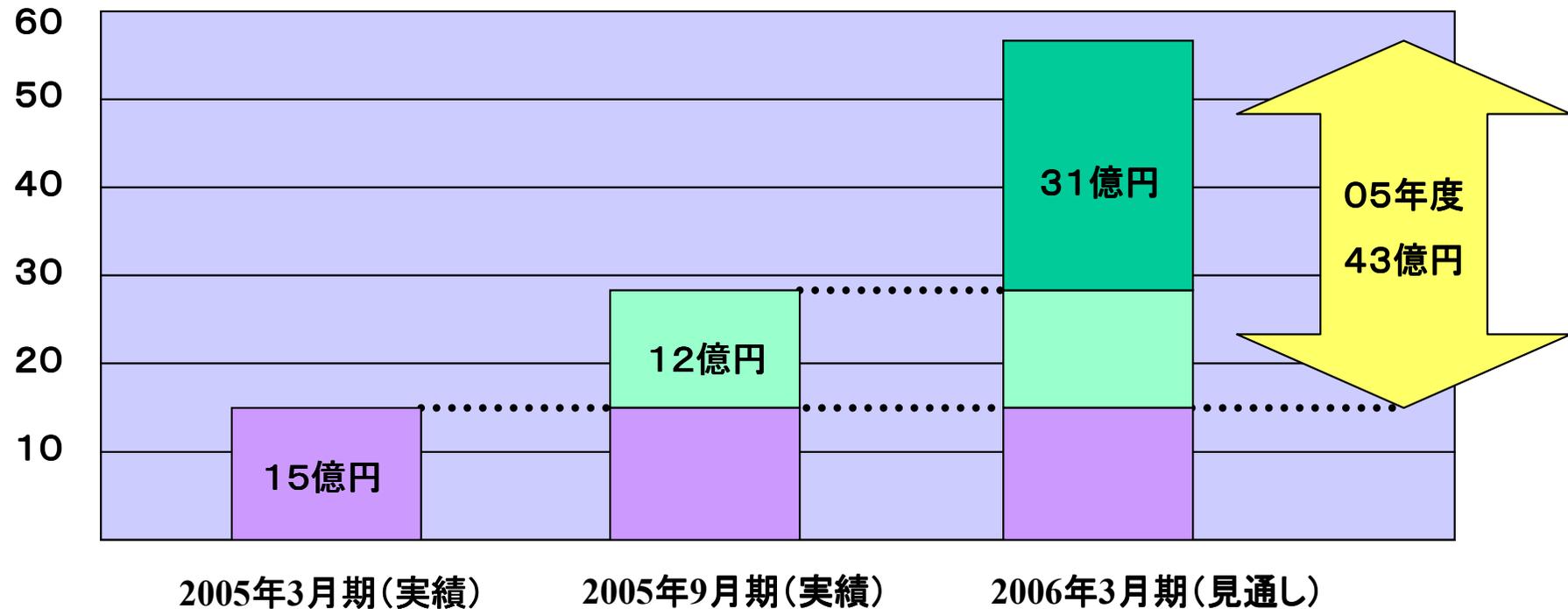
## 規制化学物質対応費用

2005年3月期 15億円



2006年3月期計画 43億円

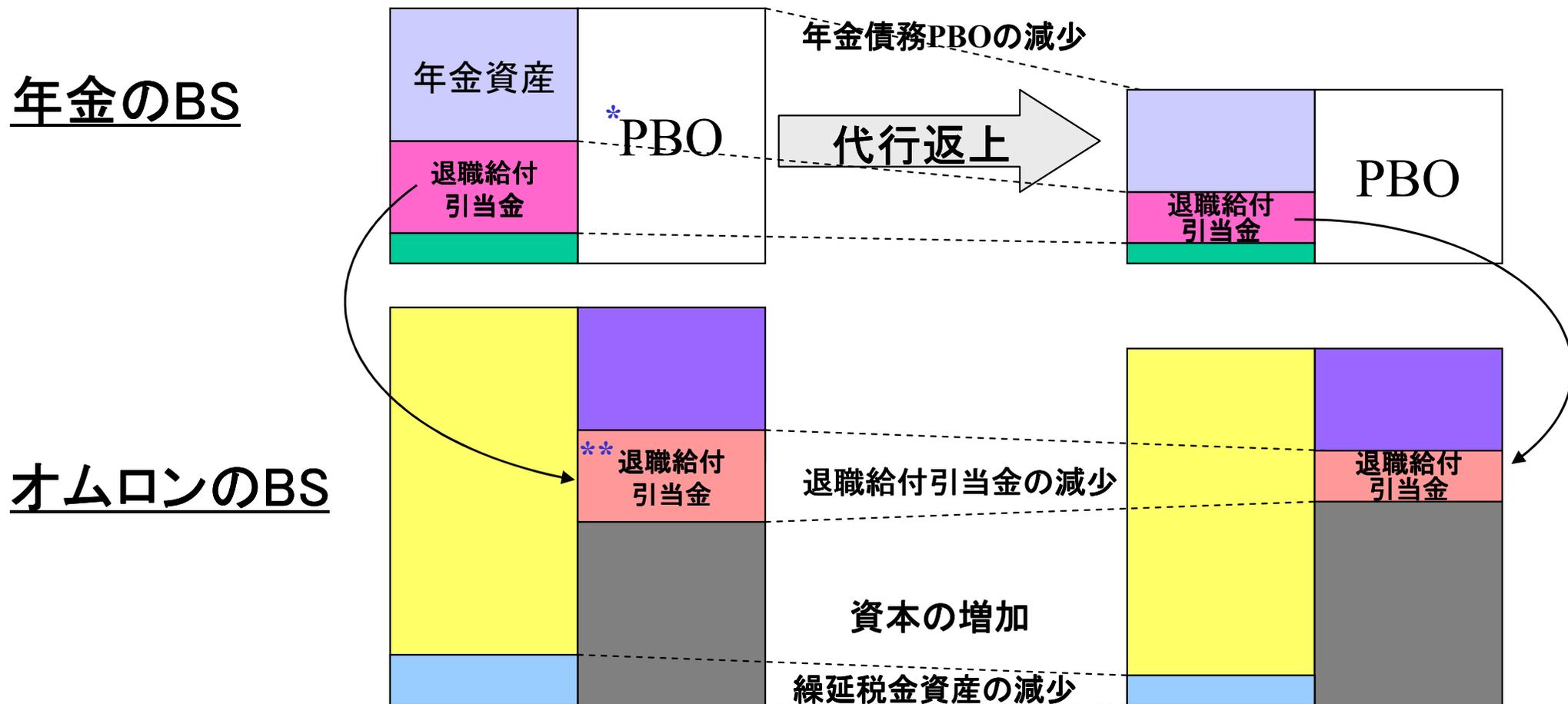
(億円)



# 営業利益の特殊要因(2) 年金代行返上

2006年3月期  
中間決算補足

代行返上により年金債務減少、返上益119億円計上  
同時に退職給付引当金の減少、資本の増加

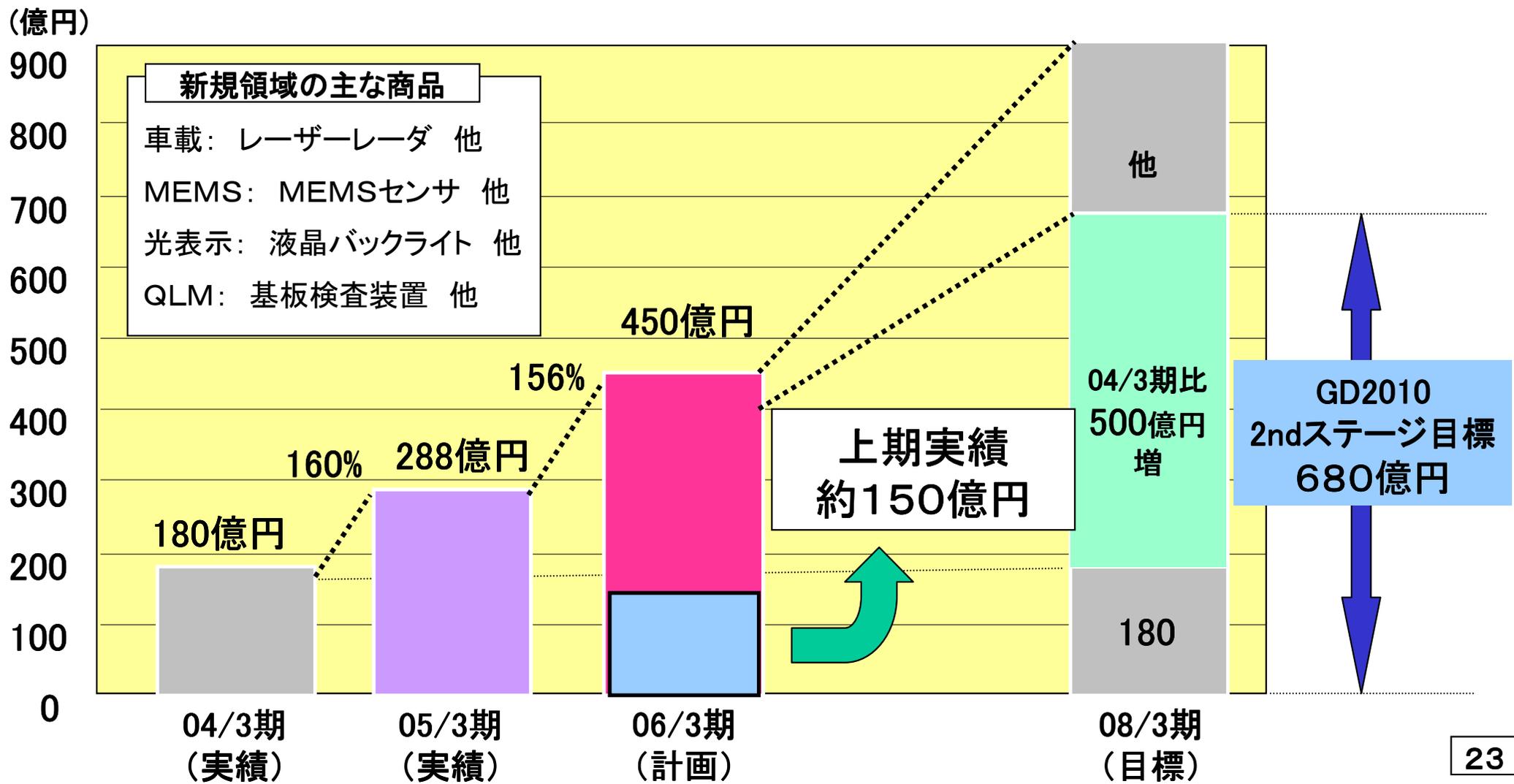


\*PBO: 予測給付債務(Projected Benefit Obligation、使用割引率2.0%)

\*\*厚生年金基金制度以外の退職給付引当金を含む

# 重点戦略の進捗状況(1) 新規領域の売上成長

年間売上計画450億円に対し、上期は約150億円の実績  
今年度目標達成に向け、下期に加速する

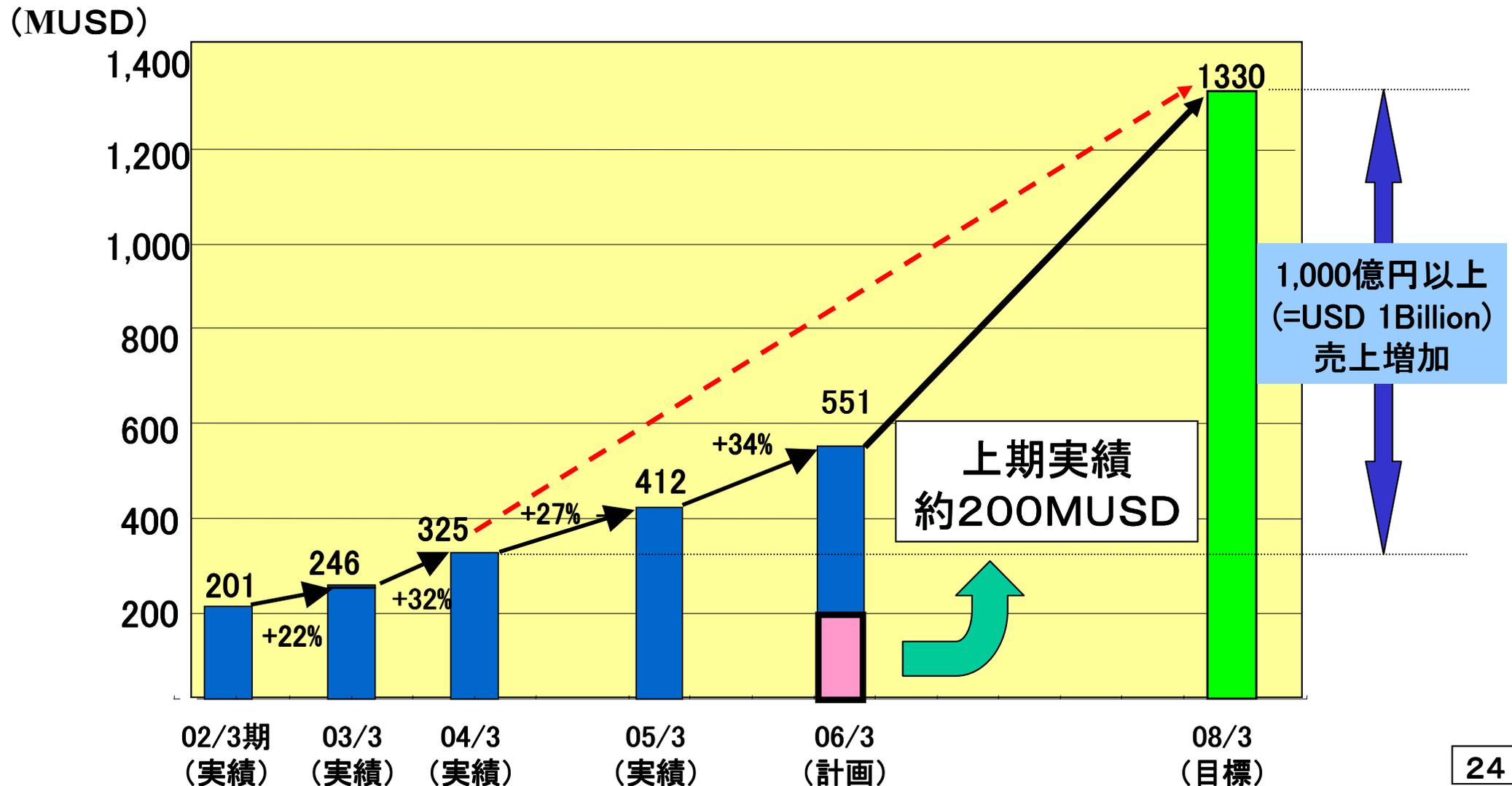


# 重点戦略の進捗状況(2)

## 中華圏の売上成長

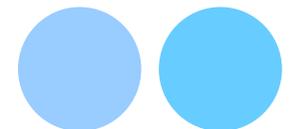
2006年3月期  
中間決算補足

年間売上計画551MUSDに対し、上期は約200MUSDの実績  
今年度目標達成に向け、下期に加速する

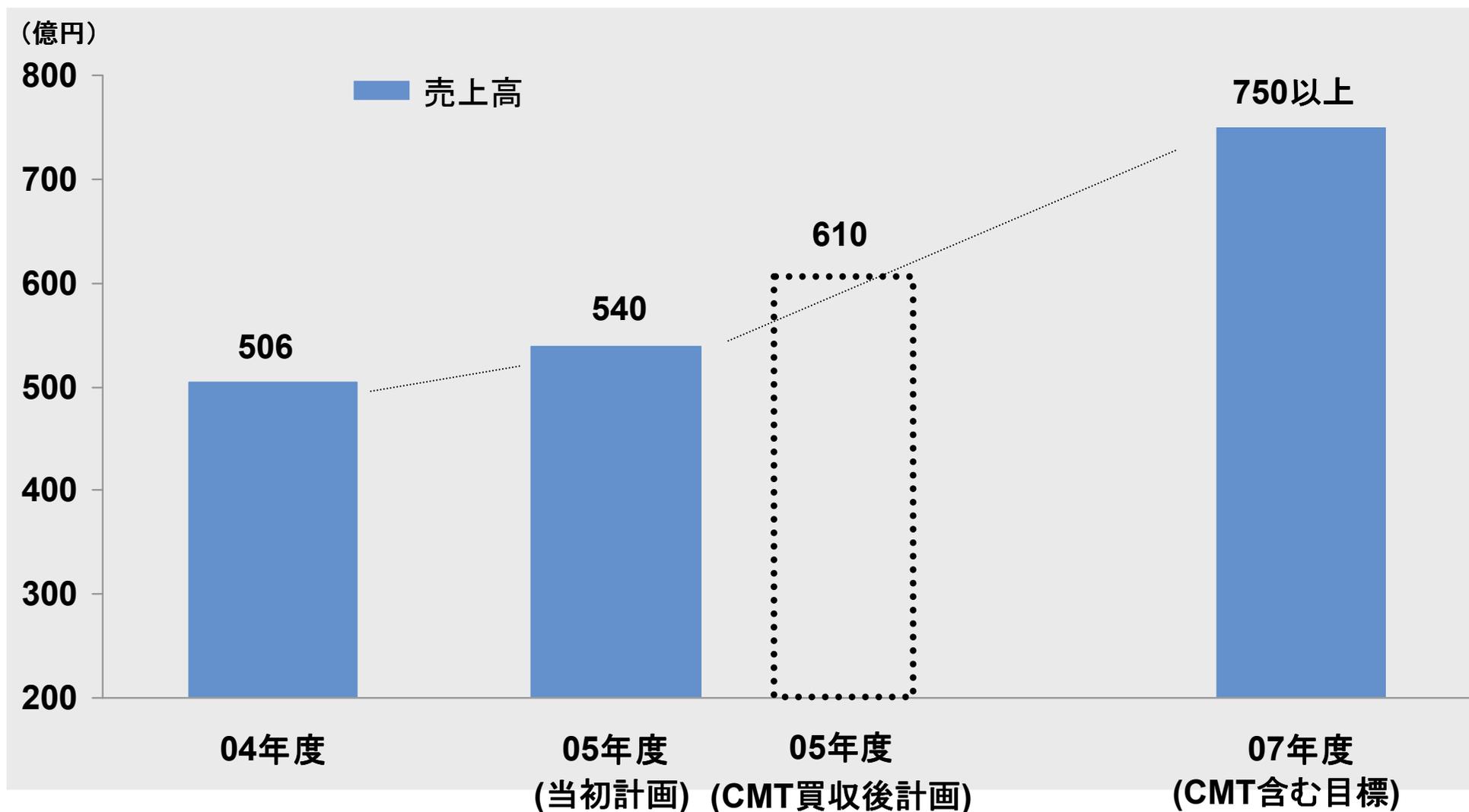


## 5. ヘルスケアビジネス事業戦略

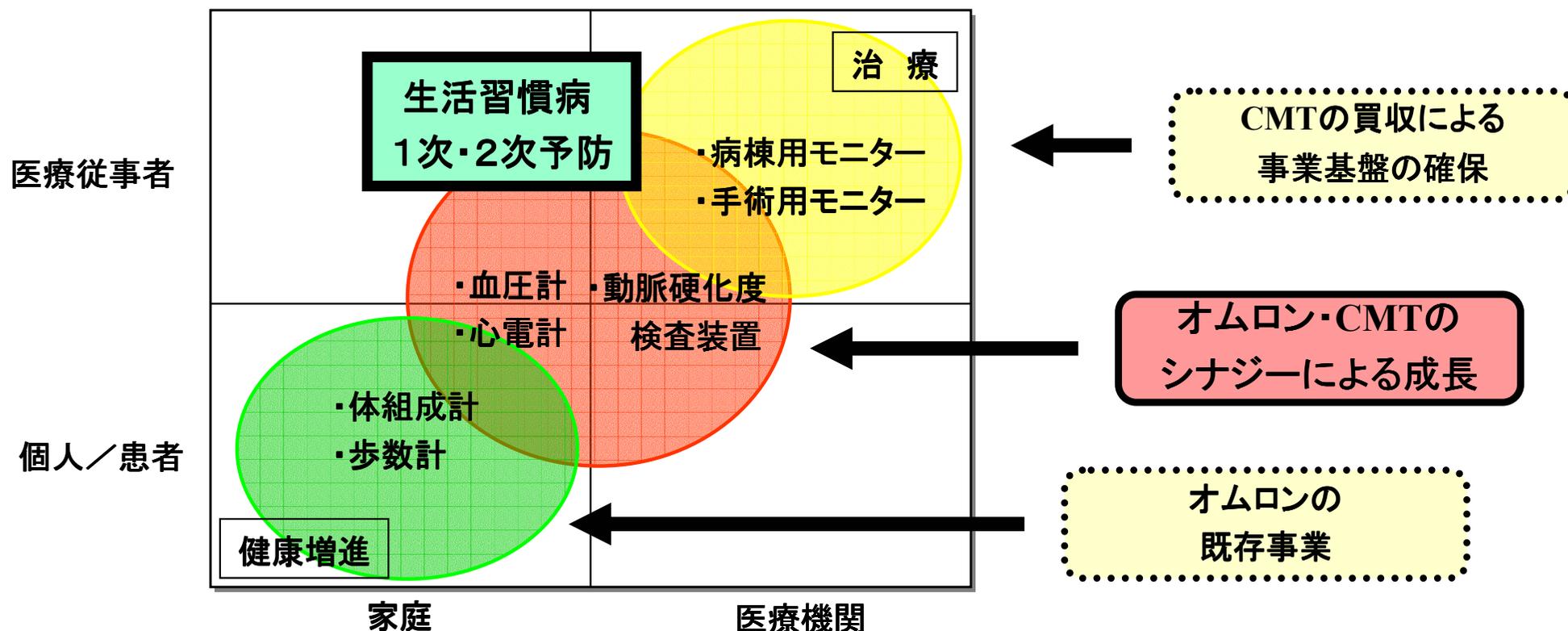
(CMT買収の背景について)



GD2010 2ndステージ目標達成に向け、継続的な高成長の実現を目指す



成長戦略でのフォーカスドメインは、「生活習慣病の1次・2次予防市場」

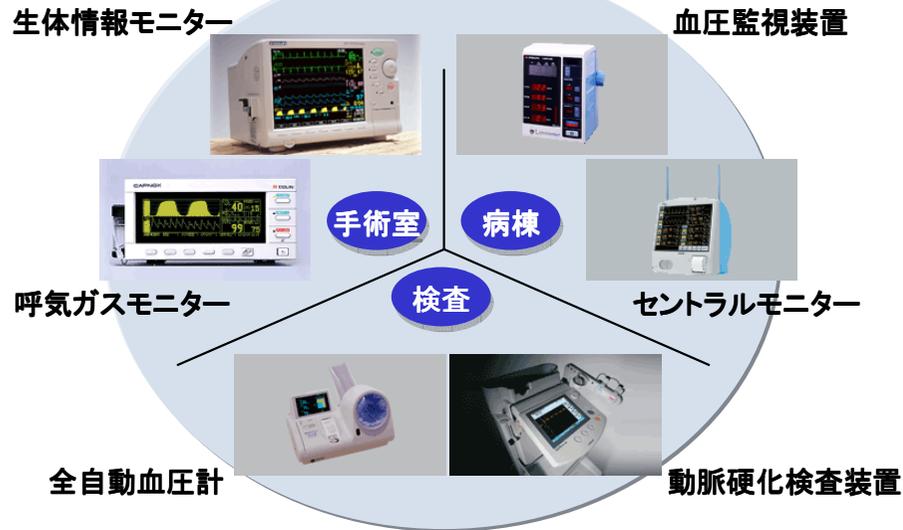


生活習慣病予防市場創造へのKFSのために、CMTとのシナジーを発揮する

- (1) エビデンスに基づいた簡便な個人／患者向けスクリーニング機器の開発
- (2) 医療機関とのネットワーク拡大と信頼性獲得
- (3) 予防医療を効率的に実践するためのビジネスモデルの構築

## コーリンメディカルテクノロジー(CMT)の買収により 医療機関／医師へのアクセスを強化

### 主要製品



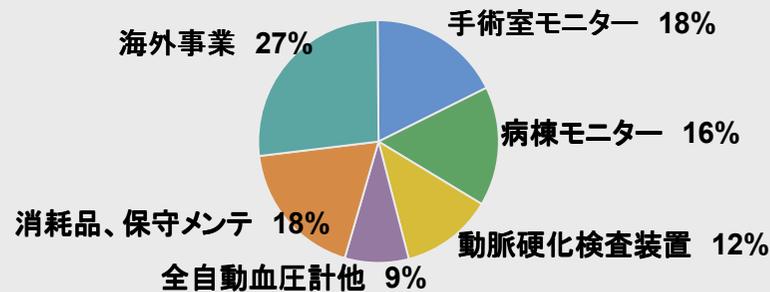
### マーケットシェア(日本)

	市場規模	1	2	3
病棟モニター	101億円	日本光電 (54%)	フクダ電子 (28%)	<b>CMT (13%)</b>
手術室モニター	38億円	<b>CMT (31%)</b>	フィリップス (13%)	日本光電 (13%)
全自動血圧計	15億円	<b>CMT (34%)</b>	エルク (33%)	A&D (10%)
動脈硬化検査装置	19億円	<b>CMT (55%)</b>	フクダ電子 (44%)	日本光電 (1%)

金額ベース、日本(2004年実績)

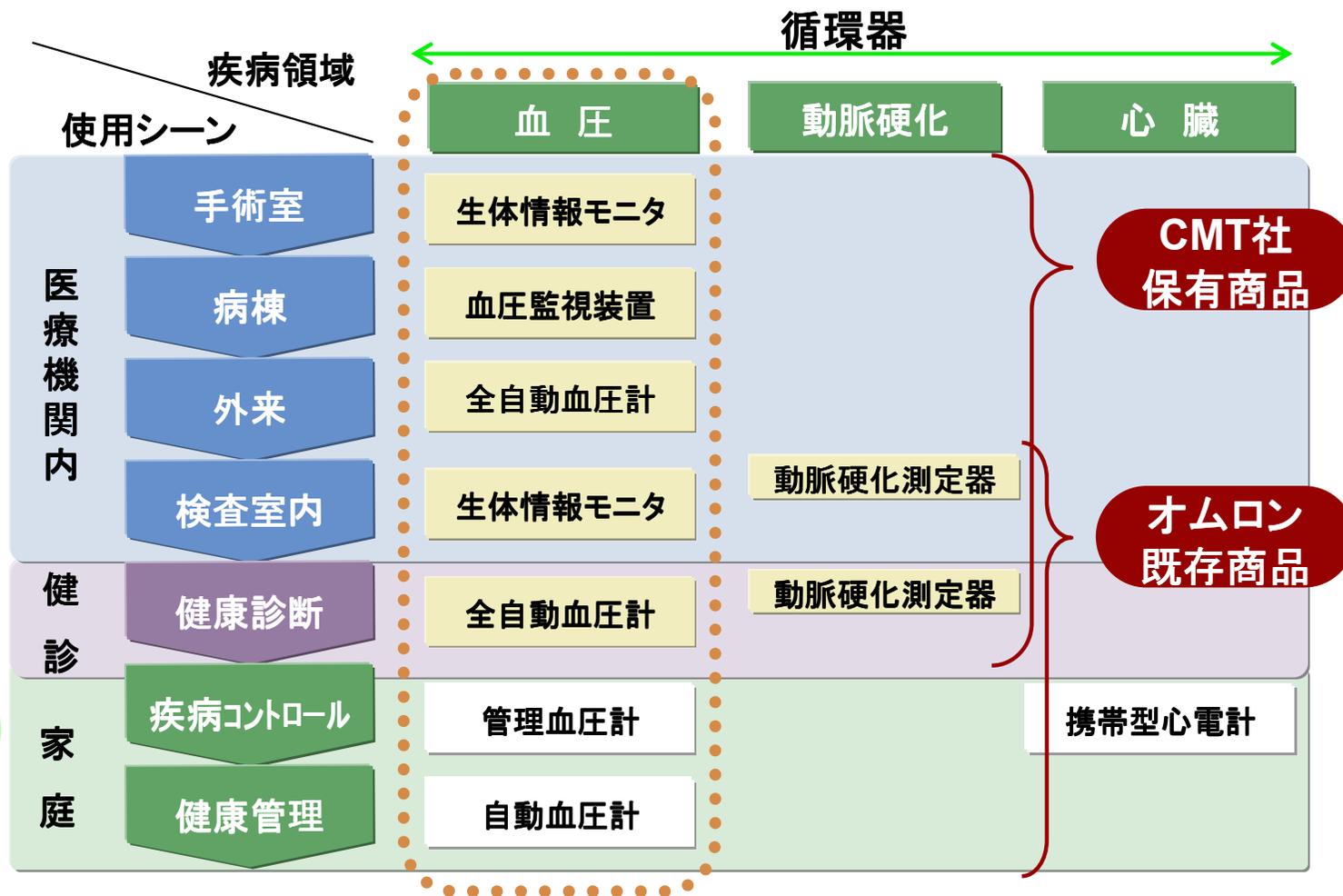
### 事業単位別売上構成比

04年度売上実績:86億円

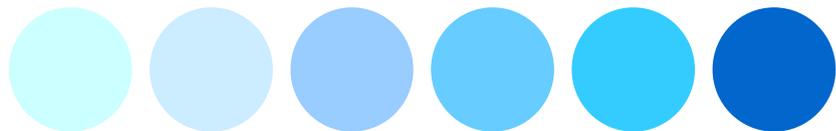


CMTは、医療機関向けの血圧計や  
動脈硬化検査装置で日本トップメーカー

## 循環器系計測機器の商品ラインアップ強化 医療機関から家庭までのフルラインを獲得する



血圧、動脈硬化度の計測機器／技術  
(循環器系における重要指標測定技術)



**OMRON**

*Sensing tomorrow™*

人と機械のベストマッチングをめざして



# オムロン株式会社

<お問い合わせ>

財務IR室 経営IR部

電話: 03-3436-7170

Email: [omron\\_ir@omron.co.jp](mailto:omron_ir@omron.co.jp)

HPアドレス: [www.omron.co.jp](http://www.omron.co.jp)

